

## CLOSE UP!



## 不育症相談窓口を開設

不安を抱えている患者さんへ、適切な検査と治療でお手伝い

妊娠をしても流産を繰り返す不育症は、高齢出産の増加に伴い増えていますが、県内に専門の相談・治療機関はありませんでした。そこで不育症患者さんの悩みに応えることを目指して、徳島大学病院に開設した不育症相談窓口を紹介します。

### ●不育症とは？

不育症とは、妊娠はするけれど、流産を2回繰り返す反復流産や3回以上繰り返す習慣流産に加え、死産・早期新生児死亡を繰り返す状態をいいます。

不育症は、子宮の形態異常・内分泌異常・染色体異常・血液疾患など様々な原因がありますが、不育症患者の7～8割は詳細な検査を行っても原因が特定さ

れません。原因が分からないことで、治療をあきらめるだけでなく、不育症であることを誰にも相談できずに1人で抱え込み、心の病にかかる患者さんが増えています。そこで、不安や悩みに耳を傾け、適切なアドバイスを行うことで、知識の偏りを防ぎ、正しい治療方法を伝えることが必要とされています。

### ●徳島大学病院の取組みは？

本院では、従来から不妊症相談窓口や不妊外来で不育症の相談や診療を行っていましたが、近年の不育症治療の進歩、出産の高齢化などにより患者さんが増加傾向にあること、加えて、不育症をアピールし、悩んでいる患者さんが相談しやすい環境を作ることを目的に、本年8月、不育症相談窓口と専門医を配置した専門

外来を開設しました。すでに、30件前後の相談があり、県内外を問わずさまざまな相談を聞き入れています。

また、最新の情報を提供し適切な検査と治療を行うために、不育症の専門家を招き、研究会や講演会を開くなど、産科婦人科医や助産師に対して不育症に関する知識を深めるための取組みも行っています。

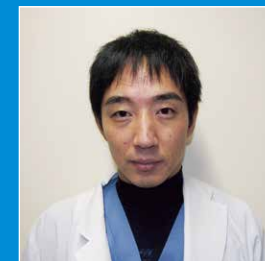


■説明は、



徳島大学病院  
産科婦人科・科長  
苛原 稔(いらはらみのる)教授

■不育症相談窓口担当医師は、



産科婦人科  
中山 聡一郎(なかやま そういちろう)  
特任助教



産科婦人科  
谷口 友香(たにくち ゆか)医員

### ●患者の皆様へ

不育症で悩む患者さんは、決して珍しくありません。妊娠した人のうち、約10～15%は1回の流産、約1%の方が流産を2回繰り返す反復流産を経験しています。

一人で悩みを抱え込まずに、まずは医師に相談し、適切な治療やアドバイスを受けることが大切です。

#### ■相談室

相談日／毎週火曜日10:00～12:00(予約制)  
予約受付／毎週月曜日および  
木曜日13:30～17:00  
毎週火曜日9:30～12:00  
問い合わせ先／Tel.088-633-7227

#### ■専門外来

受付／毎週火曜日および水曜日  
(初診のみ平日午前中)  
問い合わせ先／  
Tel.088-633-7175